

* 研究開発に関わる仕事をしていると自分の研究内容を説明する資料を作成する機会が多くなると思います。私自身頻りに資料を作成しますが、いつも資料の色使いに迷います。例えば、一般的にポジティブなメッセージは青色、ネガティブなメッセージは赤色にするべきと言われていました。実際に赤色は信号の「止まれ」やスポーツの「レッドカード」など、危険性・緊急性を示すときによく使われる色です。しかし、私自身は赤色に対してネガティブな印象は余りなく、むしろリーダーの色、前向きな色というポジティブな印象の方が強いです。そのため、無意識に赤色をポジティブな意味で使ってしまう。文法とは違い、色使いは明確なルールがないため、自分の印象と一般的な認識のずれを客観的に判断することが難しいと感じます。そもそも色に対して

明確なメッセージ性を感じない方もいらっしゃるのですが、本来は色に左右されずに分かりやすい資料を作成すべきかもしれません。いずれにせよ、自分とは異なる感性やバックグラウンドを持った不特定多数の他者に対して分かりやすい資料を作ることは非常に難しい作業だと思います。本号では、障がいのある人々の積極的な社会参加、学会への参加を促進することを目的とした論文作成・発表アクセシビリティガイドラインの小特集を掲載しております。多様なバックグラウンドを持った方々と議論するために必要な配慮や段取りなどがまとめられています。本小特集が研究の皆様の研究活動の一助となれば幸いです。

(編集特別幹事 開 達郎)

複写される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌に掲載された著作物の複写複製に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。複写複製を御希望の方は、一般社団法人学術著作権協会 (<https://www.jaacc.org>) が提供している複製利用許諾システムを通じて申請して下さい。

なお、複写以外の許諾（著作物の転載、翻訳等）に関しては、委託しておりませんので、直接本会へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

著作物利用許諾申請：<https://www.ieice.org/jpn/copyright/tensai.html>

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

The IEICE authorized Japan Academic Association For Copyright Clearance (JAC) to license our reproduction rights of copyrighted works. If you wish to obtain permission of these rights, please refer to the homepage of JAC (<https://www.jaacc.org/en/>) and confirm appropriate organizations to request permission.

Obtaining permission to quote, reproduce ; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

IEICE Secretariat Office,

E-mail : permission@ieice.org

Permission request form : <https://db.ieice.org/chosaku/sinsei/index-e.php>